

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式										
E1121005		ソルフェージュ (Solfege)																
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員												
必修	1	3	教育学部 平成31年度以前入学生用			氏名 清水 慶彦 E-mail shimizu-y@oita-u.ac.jp 内線												
授業の概要	楽譜の読み方・書き方など、音楽の基礎を学び、いわゆる「聴音」ならびに「視唱」などの基本的な訓練をおこなう。																	
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1 楽譜の基礎など、音楽科教員として必要な基礎的素養を身につけ、実施できる。																		
目標2 拍子とリズム、音高と音階について理解し、楽譜として記述できる。																		
目標3 平易な旋律聴音ならびに、平易な和声聴音を実施できる。																		
目標4																		
目標5																		
目標6																		
目標7																		
目標8																		
目標9																		
目標10																		
授業の内容																		
1 ソルフェージュとはなにか																		
2 楽譜の書き方																		
3 拍子とリズム																		
4 リズムの聴取と書き取り																		
5 音高と音程																		
6 さまざまな音程の聴取と書き取り																		
7 音階と旋律																		
8 平易な旋律の聴取と書き取り																		
9 旋律の聴取と書き取り																		
10 旋律の視唱																		
11 二声の旋律の聴取と書き取り																		
12 和音と和声																		
13 平易な和声の聴取と書き取り																		
14 旋律と平易な和声の聴取と書き取り																		
15 旋律聴音と和声聴音の実施																		
ラーニング	A:知識の定着・確認	実技・実演をとまなう能動的修学。				工夫	その他の											
	B:意見の表現・交換																	
	C:応用志向																	
	D:知識の活用・創造																	
時間外学習の内容と時間の目安	準備学修	音楽的能力の維持・発展のための日常的な練習(30h)																
	事後学修	視奏・視唱・聴音などの技術的問題の解決のための練習(15h)																
教科書	授業中に資料を配布する。ただし、各自で五線紙を用意すること。																	
参考書	教科書『中学校の音楽』(1、2・3上下巻 教育芸術社)																	
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10						
	授業中の課題	50%																
	授業中の小試験、試験等	50%																
		授業中の課題や小試験、試験等から総合的に評価する。																
注意事項																		
備考																		
リンク	URL																	